

令和8年度 教育課程表（普通科）【令和8年度入学生】

佐賀県立佐賀北高等学校通信制課程

教 科		科 目	標準単位	必 履 修	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	計	半期開講科目	
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科	国 語	現 代 の 国 語	2	○	○2	・・・	・・・	・・・	2	前 ・ 後	
		言 語 文 化	2	○	○2	・・・	・・・	・・・	2	前 ・ 後	
		文 学 国 語	4			4	・・・	・・・	0, 4		
		古 典 探 究	4			4	・・・	・・・	0, 4		
	地 理	地 理 総 合	2	○	○2	・・・	・・・	・・・	2	前 ・ 後	
		地 理 探 究	3			3	・・・	・・・	0, 3		
		歴 史 総 合	2	○	○2	・・・	・・・	・・・	2	前 ・ 後	
		日 本 史 探 究	3			3	・・・	・・・	0, 3		
	公 民	世 界 史 探 究	3			3	・・・	・・・	0, 3		
		公 共	2	○		○2	・・・	・・・	2	前 ・ 後	
		倫 理	2				2	・・・	0, 2	前	
		政 治 ・ 経 済	2				2	・・・	0, 2	後	
	数 学	数 学 I	3	○	○3	・・・	・・・	・・・	3		
		数 学 II	4			4	・・・	・・・	0, 4		
		数 学 A	2			2	・・・	・・・	0, 2	前 ・ 後	
		数 学 B	2			2	・・・	・・・	0, 2	前 ・ 後	
	理 科	科 学 と 人 間 生 活	2	△	△2	・・・	・・・	・・・	0, 2	前 ・ 後	
		物 理 基 礎	2	△		△2	・・・	・・・	0, 2	後	
		化 学 基 礎	2	△	△2	・・・	・・・	・・・	0, 2	前 ・ 後	
		生 物 基 礎	2	△	△2	・・・	・・・	・・・	0, 2	前	
		地 学 基 礎	2	△	△2	・・・	・・・	・・・	0, 2	後	
	保 体	体 育	7-8	○	○2	○2	○3	・・・	7		
		保 健	2	○	○1	○1	・・・	・・・	2		
	芸 術	音 楽 I	2	△		△3	・・・	・・・	0, 3		
		音 楽 II	2				3	・・・	0, 3		
		書 道 I	2	△		△3	・・・	・・・	0, 3		
		書 道 II	2				3	・・・	0, 3		
外 国 語	英 語 コミュニケーションⅠ	3	○	○3	・・・	・・・	・・・	3			
	英 語 コミュニケーションⅡ	4			4	・・・	・・・	0, 4			
	英 語 コミュニケーションⅢ	4				4	・・・	0, 4			
	論 理 ・ 表 現 I	2		2	・・・	・・・	・・・	0, 2	後		
家 庭 情 報	論 理 ・ 表 現 II	2			2	・・・	・・・	0, 2	前		
	家 庭 総 合	4	○	○4	・・・	・・・	・・・	4			
主として開設される各教科にお	商 業	簿 記	2-4			4	・・・	・・・	0, 4		
		ビ ジ ネ ス 基 礎	2-4			4	・・・	・・・	0, 4		
		情 報 処 理	2-4				4	・・・	0, 4		
		ビ ジ ネ ス 法 規	2-4			4	・・・	・・・	0, 4		
	家 庭	保 育 基 礎	4				4	・・・	0, 4		
		フ ェ ッ ド デ ザ イ ン	4				4	・・・	0, 4		
	校 外 学 習 活 動	知 識 及 び 技 能 審 査	1-6			・・・	・・・	・・・			
		大 学 等 に お け る 学 修	1-12			・・・	・・・	・・・			
	総合的な探究の時間			3-6	○			○3	・・・	3	
	特 別 活 動			卒業までに30時間以上							
備 考											
1 卒業時に必要な教科・科目の修得単位数を74単位以上とする。											
2 ○は必修科目、△は選択必修科目である。											
3 上記課程表の科目は原則として・・・で示す範囲の年次で履修可能である。											
4 日月併修・高卒程度認定試験・校外学習活動などにより、3年修業が可能である。											
5 理科については「科学と人間生活」「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目（うち1科目は科学と人間生活）、または、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から3科目が選択必修科目である。											
6 知識及び技能審査による単位認定は6単位以内とする。											
7 大学等による学修は12単位までとする。なお、1団体の修得単位は3単位までとする。											
8 高等学校卒業程度認定試験の科目合格による単位認定数は12単位までとする。											
9 校外学習活動及び高等学校卒業程度認定試験による修得単位数の合計は20単位までとする。											
10 「現代の国語」および「言語文化」を履修または修得した後「文学国語」「古典探究」が受講できる。											
11 「地理総合」を履修または修得した後、「地理探究」が受講できる。											
12 「歴史総合」を履修または修得した後、「世界史探究」「日本史探究」が受講できる。											
13 「公共」を履修または修得した後、「倫理」「政治・経済」が受講できる。											
14 「数学Ⅰ」を履修または修得した後、「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」が受講できる。											
15 「音楽Ⅰ」を履修または修得した後、「音楽Ⅱ」が受講できる。											
16 「書道Ⅰ」を履修または修得した後、「書道Ⅱ」が受講できる。											
17 「英語コミュニケーションⅠ」を履修または修得した後、「英語コミュニケーションⅡ」が受講できる。											
18 「英語コミュニケーションⅡ」を履修または修得した後、「英語コミュニケーションⅢ」が受講できる。											
19 「論理・表現Ⅰ」を履修または修得した後、「論理・表現Ⅱ」が受講できる。											
20 原則「家庭総合」を履修または修得した後、3年次以降「保育基礎」「フードデザイン」が受講できる。											
《注》 1. 上記「半期開講科目」の中で、「前」と記載しているのは、前期開講科目である。「後」と記載しているのは、後期開講科目である。 2. 「前・後」と併記したものは、前期および後期も開講する科目である。											

令和8年度 教育課程表（被服科）【令和8年度入学生】

佐賀県立佐賀北高等学校通信制課程

教 科		科 目	標準単位	必修	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計	半期開講科目
各学科に共通する各教科	国 語	現 代 の 国 語	2	○	○2	・・・	・・・	・・・	2	前 ・ 後
		言 語 文 化	2	○	○2	・・・	・・・	・・・	2	前 ・ 後
		文 学 国 語	4			4	・・・	・・・	0, 4	
		古 典 探 究	4			4	・・・	・・・	0, 4	
	地 歴	地 理 総 合	2	○	○2	・・・	・・・	・・・	2	前 ・ 後
		地 理 探 究	3			3	・・・	・・・	0, 3	
		歴 史 総 合	2	○	○2	・・・	・・・	・・・	2	前 ・ 後
		日 本 史 探 究	3			3	・・・	・・・	0, 3	
		世 界 史 探 究	3			3	・・・	・・・	0, 3	
	公 民	公 共	2	○		○2	・・・	・・・	2	前 ・ 後
		倫 理	2				2	・・・	0, 2	前
		政 治 ・ 経 済	2				2	・・・	0, 2	後
	数 学	数 学 I	3	○	○3	・・・	・・・	・・・	3	
		数 学 A	2			2	・・・	・・・	0, 2	前 ・ 後
		数 学 B	2			2	・・・	・・・	0, 2	前 ・ 後
	理 科	科 学 と 人 間 生 活	2	△	△2	・・・	・・・	・・・	0, 2	前 ・ 後
		物 理 基 礎	2	△		△2	・・・	・・・	0, 2	後
		化 学 基 礎	2	△	△2	・・・	・・・	・・・	0, 2	前 ・ 後
		生 物 基 礎	2	△	△2	・・・	・・・	・・・	0, 2	前
		地 学 基 礎	2	△	△2	・・・	・・・	・・・	0, 2	後
	保 体	体 育	7-8	○	○2	○2	○3	・・・	7	
		保 健	2	○	○1	○1	・・・	・・・	2	
	芸 術	音 楽 I	2	△		△3	・・・	・・・	0, 3	
		音 楽 II	2				3	・・・	0, 3	
		書 道 I	2	△		△3	・・・	・・・	0, 3	
		書 道 II	2				3	・・・	0, 3	
	外 国 語	英 語 コミュニケーション I	3	○	○3	・・・	・・・	・・・	3	
		論 理 ・ 表 現 I	2		2	・・・	・・・	・・・	0, 2	後
		論 理 ・ 表 現 II	2			2	・・・	・・・	0, 2	前
	家 庭 情 報	家 庭 総 合	4	○	○4	・・・	・・・	・・・	4	
		情 報 I	2	○		○2	・・・	・・・	2	前 ・ 後
主として開設される専門学科に科	商 業	ビ ジ ネ ス 基 礎	2-4			4	・・・	・・・	0, 4	
		ビ ジ ネ ス 法 規	2-4			4	・・・	・・・	0, 4	
	家 庭	生 活 産 業 基 礎	2		◎2				2	
		課 題 研 究	2-4				◎3		3	
		服 飾 文 化	2-4				◎2		2	
		フ ァ ッ シ ョ ン 造 形 基 礎	2-6		◎4				4	
		フ ァ ッ シ ョ ン 造 形	2-10			◎2	◎6		8	
		フ ァ ッ シ ョ ン デ ザ イ ン	2-14		◎2	◎8			10	
		服 飾 手 芸	2-4		◎2				2	
	校 外 学 習 活 動	知 識 及 び 技 能 審 査	1-6		・・・	・・・	・・・	・・・		
大 学 等 に お け る 学 修		1-12		・・・	・・・	・・・	・・・			
総合的な探究の時間			3-6	○ 3単位を課題研究で代替					3	
特 別 活 動			卒業までに30時間以上							

備考

- 卒業時に必要な教科・科目の修得単位数を74単位以上とする。
- は必修科目、△は選択必修科目である。
- ◎は技能連携科目である。
- 上記課程表の科目は原則として・・・で示す範囲の年次で履修可能である。
- 理科については「科学と人間生活」「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目（うち1科目は科学と人間生活）、または、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から3科目が選択必修科目である。
- 知識及び技能審査による単位認定は6単位以内とする。
- 大学等による学修は12単位までとする。なお、1団体の修得単位は3単位までとする。
- 高等学校卒業程度認定試験の科目合格による単位認定数は12単位までとする。
- 校外学習活動及び高等学校卒業程度認定試験による修得単位数の合計は20単位までとする。
- 「現代の国語」および「言語文化」を履修または修得した後、「文学国語」「古典探究」が受講できる。
- 「地理総合」を履修または修得した後、「地理探究」が受講できる。
- 「歴史総合」を履修または修得した後、「世界史探究」「日本史探究」が受講できる。
- 「公共」を履修または修得した後、「倫理」「政治・経済」が受講できる。
- 「数学Ⅰ」を履修または修得した後、「数学A」「数学B」が受講できる。
- 「音楽Ⅰ」を履修または修得した後、「音楽Ⅱ」が受講できる。
- 「書道Ⅰ」を履修または修得した後、「書道Ⅱ」が受講できる。
- 「論理・表現Ⅰ」を履修または修得した後、「論理・表現Ⅱ」が受講できる。

《注》

1. 上記「半期開講科目」の中で、「前」と記載しているのは、前期開講科目である。「後」と記載しているのは、後期開講科目である。

2. 「前・後」と併記したものは、前期および後期も開講する科目である。